

第4回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模ホームあんきな

サービス種類：☐グループホーム ・ ☒小規模多機能型居宅介護
☐地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護
☐地域密着型通所介護 ・ ☐認知症対応型通所介護

日 時：令和6年11月20日（水） 9：30～10：30

場 所：第一会議室

出席者：9人

駐在所巡查長	1	知見を有する者	1人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人	民生委員	欠席
事業所職員（職名：地域部管理者、主任）			3人

議 題：

1. 登録実績と利用状況について ＊別紙レジュメ参照
2. 近況報告
3. 外部評価関連
4. その他

報告事項

1. 登録実績と利用状況について
 - ・新規利用者9月1名、10月1名 登録修了者9月0名、10月1名
2. 活動状況報告
 - ・9月、10月の定員超過無し

①外部評価関連（地域かかわりシートA～F）

C：地域とのかかわりについて

- ・朝波小学校児童下校時の見守り活動
- ・11/20（水）13：30～ 避難訓練へのご案内を大津長浜自治会へ回覧した。

D：地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み

事業所の援助で波根まちセンでの活動参加利用者1名、久手まちセンでの活動参加利用者1名あることの報告を行う。要介護者の受け入れについて、地域住民の方の理解が得られていることに対して感謝を伝えた。

E：運営推進会議を活かした取組み

(波根駐在所より)

Q：自分の敷地と思い込んで他人の敷地内へ入り、庭木を切って困る事案があった。認知症によるものだと思うので包括へ相談したが、それで良いか。

A：包括へ相談して良いと思う。一律に認知症というのではなく、自分の敷地だと思い込んでいるのが問題であるので、具体的な症状も伝えると対応しやすいと思われる。地域における認知症ケアの拠点として事業所にも相談窓口もあるので、些細な事でも心配事があれば相談してもらえるように地域の方へも発信して頂きたい。

(事業所より)

宗教関係者の勧誘に困っている利用者の対応を近隣の方のネットワーク構築や駐在所との連携対応している事例について紹介した。

(波根まちづくりセンター長より)

Q：個人情報をお教えたくない方も増えているので、社会活動が普及しない原因にもなっているのを懸念している。

A：大田市でも地域包括ケアの構築を目指しているが、様々な課題があり周知が図れていなかったり機能していなかったりする部分もある。運営推進会議を通じて徐々に地域との連携や協力が浸透していくようお願いした。

② 職員研修について

(外部研修)

- ・ 10/3 認知症実践者研修 1名
- ・ 10/23 生産性向上研修 1名
- ・ 10/31 認知症リーダー研修 1名

3.その他

行事報告 10/29 10/30 運動会実施

次回開催日：令和7年1月15日（水）9：30～10：30